



6月27日 学校保健委員会

今年の学校保健委員会のテーマは「あたたかい人間関係を作ろう」で、昨年に引き続きスクールカウンセラーの小久保先生を講師にお招きして行われました。

参加した5・6年生は、4人グループを作って「自分を複数の目から見る」活動を行い、「他人と自分の考えがまったく同じになることは珍しい」と実感することができました。この経験が、後半の「違うことを受け入れる」という話につながります。

小久保先生は、下の資料を使いながら、

「違うことを受け入れて、否定の言葉を飲み込む。これが、チクチクくんになるかふわふわくんになるかの分かれ道」

と、あたたかい人間関係を作るポイントを話されました。

チクチク考え	ふわふわ考え	チクチク態度	ふわふわ態度	チクチク言葉	ふわふわ言葉
②「違う」ことを受け入れる 正解は一つ！ 「同じ」が安心 「違う」が不安  チクチクくん	②「違う」ことを受け入れる そういうことも あるかも？ 違うのはどうして？ 自分は自分、人は人  ふわふわくん	②「違う」ことを受け入れる 相手の方を見ない 話をさえぎる 返事をしない  チクチクくん	②「違う」ことを受け入れる 相手の方を見る 最後まで話を聞く 相槌をうつ  ふわふわくん	②「違う」ことを受け入れる でも、それってさー ありえない マジないわー  チクチクくん	②「違う」ことを受け入れる そうなんだ なるほどね どうして、 そう思ったの？  ふわふわくん

6月25日 2年生・5年生交流会



今年度、細川小学校では、学期に一回ずつ異学年交流を行うことにしました。最近、近所に住む様々な学年の子と一緒に遊ぶ機会はずいぶん少なくなり、学校でそのような場を意図的に設定する必要があると感じています。上学年が下学年に優しく接したり、お手本になったりし、下学年は上学年に感謝したり、あこがれをもったりする機会にしたいと思います。

先週は、2年生と5年生と一緒に転がしドッジボールを楽しみました。2年生からは「ボールを譲ってもらってうれしかった。」
「知らない子と友達

になれてうれしかった。」という声が聞かれ、5年生からは「ルールを工夫すると、2年生と5年生も一緒に楽しむことができることがわかった。」という声がありました。どちらの学年にとっても有意義な機会になったようです。3・4年生は今週、1・6年生は来週交流する予定です。

学区内で、公園からボールが飛び出して近くの家や壁や車に当たる、公園に来た子が近くの家や敷地に入り込む等、小学生が近隣の方に迷惑をかけているという話を聞きました。下校後の遊び方について学校でも指導していきますので、ご家庭でも、お子さんと話をしていただければ幸いです。